



### 山 上 生

之を俳句にもめると  
 (類題句集) 由水  
 あはれ見よ草花ばかり登  
 の市 (花) (み) 其角  
 親も子も清きころの草花  
 (白律句集) 白律  
 先づ句よ草花むしるを  
 の市 (花) (み) 其角  
 親も子も清きころの草花  
 (白律句集) 白律  
 先づ句よ草花むしるを  
 の市 (花) (み) 其角  
 親も子も清きころの草花

「迎火」の俳句に  
 (雅歌) 吟江  
 迎火や、手抱へて、  
 (句) 葉 外  
 迎火や、手抱へて、  
 (句) 葉 外  
 迎火や、手抱へて、

川柳に  
 吐られたことも、  
 祭(文化)  
 七月の祭は、  
 雑(文政)  
 等といふのが、

(後黄葉集) 貞風  
 有るやうな、  
 淋しうて何やら、  
 祭かな  
 (後撰夷曲集) 木極  
 亡き人の今夜は、  
 玉祭かな  
 (後撰夷曲集) 手四郎  
 蓮の葉におき、

朝の草原  
 朝の草原  
 朝の草原  
 朝の草原

○あまの山、  
 ○あまの山、  
 ○あまの山、  
 ○あまの山、

小児科 内科  
**酒井醫院**  
 入院 随時  
 平市南町(電話五五五)  
 醫學博士 酒井保

軍に擬したものである。  
 11日  
 新内閣の閣内閣  
 新内閣(安永三)  
 カネギ死(一)  
 9月11日  
 △高利貸の事  
 △高利貸の事  
 △高利貸の事

一粒の麥、もし地に落  
 ちて死なば、唯一つ  
 にてありなん、もど死  
 ば多く、實を結ぶべ  
 きリノスト



「これは叶はぬ、  
 「これは叶はぬ、  
 「これは叶はぬ、  
 「これは叶はぬ、

「これは叶はぬ、  
 「これは叶はぬ、  
 「これは叶はぬ、  
 「これは叶はぬ、

おきぬは金平が世を去り、  
 以来誰に遺るるに、  
 親方、お助けや、  
 「阿呆、おきぬは、  
 阿呆、おきぬは、  
 阿呆、おきぬは、

亡母瑠璃院、  
 瑠璃院、  
 瑠璃院、  
 瑠璃院、

信光院の、  
 信光院の、  
 信光院の、  
 信光院の、

釋尼抄春の、  
 釋尼抄春の、  
 釋尼抄春の、  
 釋尼抄春の、

慈照院新盆、  
 慈照院新盆、  
 慈照院新盆、  
 慈照院新盆、

**社員招聘**  
 一、事務所主任 若干名  
 二、外務 社員 若干名  
 今回事務所、  
 今回事務所、  
 今回事務所、

**片倉生命保険株式會社**  
 平出 張所  
 片倉生命保険株式會社  
 平出 張所  
 片倉生命保険株式會社

**酒乙**  
 酒乙  
 酒乙  
 酒乙

**お新盆用戒名入れ提灯**  
 スガノヤ提灯店へ  
 ▼注文は是非!!!  
 ▼注文は是非!!!  
 ▼注文は是非!!!

**佛壇、塗位牌、佛具類一式**  
 豊富に取揃へました  
 佛壇、塗位牌、佛具類一式  
 豊富に取揃へました  
 佛壇、塗位牌、佛具類一式

**敬神と崇祖とは皇國の**  
 精神の基礎  
 敬神と崇祖とは皇國の  
 精神の基礎  
 敬神と崇祖とは皇國の

**御佛具**  
 佛ダン位牌  
 御佛具  
 佛ダン位牌  
 御佛具

**伊東屋家具店**  
 伊東屋家具店  
 伊東屋家具店  
 伊東屋家具店

**平病院**  
 鈴木定藏  
 平病院  
 鈴木定藏  
 平病院

**響城の御みやげ品**  
 改め響峰羊かん  
 響城の御みやげ品  
 改め響峰羊かん  
 響城の御みやげ品

**故人の靈を祀るお盆が**  
 近づきました  
 故人の靈を祀るお盆が  
 近づきました  
 故人の靈を祀るお盆が

**吉田眼科醫院**  
 吉田久雄  
 吉田眼科醫院  
 吉田久雄  
 吉田眼科醫院

平野新聞 昭和十五年八月十一日

